

医大協ニュース

岩手医科大学

《役職者の人事》

◎全学教育推進機構長

佐藤洋一（新任）

◎図書館長

佐藤洋一（新任）

◎学生部長

赤坂俊英（再任）

◎附属病院副院長

千田勝一（新任）

◎附属PET・リニアック先端医療センター長

中村隆二（再任）

◎総合情報センター長

小山耕太郎（新任）

◎総合情報センター副センター長

田中良一（新任）

◎いわて東北メディカル・メガバンク機構副機構長

小笠原邦昭（新任）

中村元行（新任）

以上、平成26年4月1日付

◎附属花巻温泉病院副院長

一戸貞文（新任）

平成26年5月1日付

《教授の人事》

◎教授就任

櫻井 滋（睡眠医療学科）

小原 航（泌尿器科学講座）

以上、平成26年7月1日付

村木 靖（統合基礎講座微生物学講座感染症学・免疫学分野）

平成26年8月1日付

日本医科大学

《法人役員》

◎理事

池本卯典（再任）

平成26年10月1日付

◎監事

大喜多啓光（再任）

平成26年6月1日付

《人事》

◎国際交流センター長

新田 隆（再任）

平成26年7月1日付

◎医学部長

弦間昭彦（再任）

平成26年10月1日付

◎大学院教授

杉谷 巖（内分泌外科学）

平成26年5月1日付

佐伯秀久（皮膚粘膜病態学）

平成26年6月1日付

木村和美（神経内科学）

桑名正隆（アレルギー膠原病内科学）

以上、平成26年7月1日付

◎特任教授

海原純子

平成26年6月1日付

土屋眞一

平成26年7月1日付

◎臨床教授

長谷川賢作（附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

平成26年7月1日付

坂谷貴司（附属病院病理診断科）
尾崎勝俊（多摩永山病院血液内科）

以上、平成26年10月1日付

《訃報》

横室公三名誉教授は、平成26年4月6日（日）に逝去されました。享年82。

菊地吾郎名誉学長は、平成26年7月24日（木）に逝去されました。享年94。

東京医科大学

《人事》

◎名誉教授称号授与

飯森眞喜雄

渡邊克益

荒井貞夫

松本哲夫

代田常道

以上、平成26年4月1日付

《就任》

◎学長

鈴木 衛（耳鼻咽喉科学分野主任教授）（新任）

◎副学長

池田徳彦（呼吸器・甲状腺外科学分野主任教授）（再任）

小西真人（細胞生理学分野主任教授）（新任）

岡谷恵子（看護学科教授）（再任）

◎副学長補

黒田雅彦（分子病理学分野主任教授）（新任）

福武勝幸（臨床検査医学分野主任教授）（新任）

三木 保（医療の質・安全管理学分野主任教授）（新任）

竹内千恵子（看護学科教授）（再任）

◎学生部長

後藤 浩（眼科学分野主任教授）（再任）

◎副学生部長

石 龍徳（組織・神経解剖学分野主任教授）（新任）

竹内千恵子（看護学科教授）（再任）

◎図書館長

山科 章（循環器内科学分野主任教授）（新任）

◎副図書館長

長尾俊孝（人体病理学分野主任教授）（再任）

以上、平成 26 年 7 月 1 日付

◎教授

菅原信二（茨城医療センター放射線科）

平成 26 年 5 月 1 日付

西田 淳（整形外科学分野）

小野 聡（八王子医療センター特定集中治療部）

以上、平成 26 年 6 月 1 日付

大平達夫（呼吸器・甲状腺外科学分野）

平成 26 年 7 月 1 日付

◎看護専門学校長

伊藤正裕（人体構造学分野主任教授）（新任）

平成 26 年 8 月 1 日付

《退任》

◎教授

杭ノ瀬昌彦（心臓血管外科学分野）

平成 26 年 7 月 31 日付

東京女子医科大学

《法人役員の退任》

◎理事

福下雄二（退任）

平成 26 年 6 月 26 日付

笠貫 宏（解任）

平成 26 年 7 月 6 日付

《教授就任》

長嶋洋治（病理診断科教授）

平成 26 年 5 月 1 日付

阿部光一郎（画像診断学・核医学学科教授）

平成 26 年 8 月 1 日付

《人事》

◎学長代行

吉岡俊正（就任）

平成 26 年 7 月 6 日付

◎医学部長代行

新田孝作（就任）

平成 26 年 8 月 24 日付

東京慈恵会医科大学

《人事異動》

◎教授

石地尚興（昇任）（皮膚科学講座）

平成 26 年 5 月 1 日付

鴻 信義（昇任）（耳鼻咽喉科学講座）

平成 26 年 6 月 1 日付

森 豊（昇任）（内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科））

武山 浩（昇任）（外科学講座）

小林一成（昇任）（リハビリテーション医学講座）

以上、平成 26 年 7 月 1 日付

須江洋成（昇任）（臨床検査医学講座）

平成 26 年 8 月 1 日付

昭和大学

《就任関係》

◎医学部内科学講座教授（緩和医療科学部門）（昭和大学横浜市北部病院勤務）

奈良林至（就任）

平成 26 年 5 月 1 日付

◎医学部耳鼻咽喉科学講座教授（昭和大学病院勤務）

小林一女（就任）

平成 26 年 5 月 13 日付

◎医学部脳神経外科学講座教授（昭和大学藤が丘病院勤務）

寺田友昭（就任）

平成 26 年 9 月 1 日付

◎医学部泌尿器科学講座教授（昭和大学藤が丘病院勤務）

佐々木春明（就任）

平成 26 年 9 月 9 日付

◎昭和大学名誉教授

嶽山陽一（授与）

平成 26 年 7 月 8 日付

順天堂大学

《人事異動》

◎名誉教授選任

釘宮豊城

福地義之助

◎特任教授選任

比留間政太郎

◎教授就任

武田裕子（大学院医学研究科医学教育研究室／医学部医学教育研究室）

安本幸正（大学院医学研究科脳神経外科学／医学部脳神経外科学講座（医学部附属浦安病院））

直居 豊（大学院医学研究科放

放射線治療学／医学部放射線医学
教室・放射線治療学講座（医学
部附属練馬病院）

水野 樹（大学院医学研究科疼
痛制御学（医学部附属順天堂東
京江東高齢者医療センター））

以上、平成26年6月1日付

関西医科大学

《教授人事》

◎教授就任

濱田 円（外科学講座診療教授）

平成25年10月1日付

平野伸二（生物学）

豊田長興（内科学第二講座診療
教授）

濱田吉則（外科学講座診療教授）

埜中正博（脳神経外科学講座
診療教授）

以上、平成26年4月1日付

北 正人（産科学・婦人科学講
座診療教授）

平成26年6月1日付

金本真也（胸部心臓血管外科学
講座診療教授）

平成26年7月1日付

◎教授退任

吉本康明（生物学）

中谷壽男（救急医学講座診療科
教授）

以上、平成26年3月31日付

《役職者人事》

◎卒後臨床研修センター

センター長

金子一成（再任）

平成26年1月1日付

◎附属滝井病院病院長

岩坂壽二（再任）

◎香里病院病院長

高山康夫（再任）

◎天満橋総合クリニック院長

浦上昌也（再任）

◎大学情報センターセンター長

伊藤誠二（新任）

◎教務部長

友田幸一（再任）

◎学生部長

楠本健司（再任）

◎大学院教務部長

中邨智之（再任）

◎附属生命医学研究所所長

木梨達雄（再任）

◎総合研究施設施設長

赤根 敦（新任）

以上、平成26年4月1日付

大阪医科大学

《人事》

◎教授就任

小野富三人（生理学）

平成26年6月16日付

高井真司（大学院医学研究科）

平成26年7月1日付

◎専門教授就任

木村文治（内科学Ⅰ）

根本慎太郎（胸部外科学）

星賀正明（内科学Ⅲ）

槇野茂樹（内科学Ⅰ）

寺崎文生（教育センター）

中野隆史（教育センター）

林 道廣（教育センター）

以上、平成26年7月1日付

◎特別任命教員教授就任

鈴木富雄（地域総合診療科学

（兵庫県）寄附講座）

平成26年9月16日付

久留米大学

《教授の就任》

◎医学部医学科産婦人科講座

牛嶋公生

◎皮膚細胞生物学研究所

橋本 隆（（所属替）現：医学
部医学科皮膚科学講座）

以上、平成26年5月1日付

北里大学

◎教授採用

堀口兵剛（衛生学）

平成26年5月1日付

神谷紀輝（呼吸器外科学（北里
研究所病院））

平成26年6月1日付

辻 尚利（寄生虫学）

平成26年9月1日付

杏林大学

《人事》

◎教授就任

平野照之（脳卒中医学）

平成26年9月1日付

川崎医科大学

《教授の異動》

◎教授就任

八木田佳樹（脳卒中医学）

平成26年9月1日付

◎教授退任

木村和美（脳卒中医学）

平成26年6月30日付

聖マリアンナ医科大学

《教授の異動》

◎教授退任

田中 守 (産婦人科学 (産科))
平成 26 年 5 月 31 日付
木村健二郎 (内科学 (腎臓・高
血圧内科))
平成 26 年 8 月 31 日付

◎病院教授就任

小池淳樹 (病理学 (診断病理) (川
崎市立多摩病院))
平成 26 年 8 月 1 日付

帝京大学

◎常務理事

冲永寛子 (再任)

◎理事

寺本民生 (再任)
以上、平成 26 年 5 月 28 日付

◎教授

原 眞純 (医学部附属溝口病院
第四内科学講座) (昇任)
平成 26 年 6 月 1 日付
緒方直史 (医学部リハビリテー
ション科) (採用)
平成 26 年 7 月 1 日付
澁井壯一郎 (医学部附属溝口病
院脳神経外科学) (採用)
平成 26 年 10 月 1 日付

藤田保健衛生大学

《役員人事》

◎理事の就任

湯澤由紀夫
平成 26 年 4 月 1 日付

井澤英夫
平成 26 年 9 月 1 日付

◎監事の就任

塚田弘志 (再任)
平成 26 年 4 月 1 日付

《役職者人事》

◎大学長

星長清隆 (就任)

◎統括副学長

才藤栄一 (就任)

◎副学長

松永佳世子 (就任)
金田嘉清 (就任)

◎藤田保健衛生大学病院長

湯澤由紀夫 (就任)

◎藤田保健衛生大学病院副院長

廣瀬雄一 (就任)
以上、平成 26 年 4 月 1 日付

◎藤田保健衛生大学坂文種報徳會 病院長

井澤英夫 (就任)
平成 26 年 9 月 1 日付

《教授の就任》

◎医学部

岩尾聡士 (地域老年科)
平成 25 年 10 月 1 日付
吉田友昭 (生物学)
中島 昭 (生理化学)
赤塚美樹 (血液内科学)
伊藤哲哉 (小児科学)
近藤康人 (小児科)
以上、平成 26 年 4 月 1 日付
長谷川みどり (腎内科学)
平成 26 年 6 月 1 日付

《教授の退職》

◎医学部

庄田 基 (脳神経外科学)
平成 25 年 12 月 31 日付
木戸正幸 (英語)
岡澤光芝 (呼吸器内科学 I)
井野晶夫 (救急総合内科)
宇理須厚雄 (小児科)
以上、平成 26 年 3 月 31 日付

佐藤誠二 (上部消化管外科学)
平成 26 年 4 月 30 日付

兵庫医科大学

《理事・教授等の異動》

◎教授

藤盛好啓 (就任) (輸血・細胞
治療学)
石原正治 (就任) (内科学冠疾
患科)
以上、平成 26 年 8 月 1 日付
福島和明 (就任) (化学)
平成 26 年 9 月 1 日付
野坂和人 (退任) (化学)
平成 26 年 8 月 31 日付

愛知医科大学

《人事異動》

◎理事

浅井富成 (辞任)
平成 26 年 5 月 31 日付
羽生田正行 (就任)
細川秀一 (就任)
以上、平成 26 年 6 月 1 日付

◎教授

大石ふみ子 (採用) (看護学部)
下村明子 (採用) (看護学部)
白鳥さつき (採用) (看護学部)
田辺圭子 (採用) (看護学部)
以上、平成 26 年 4 月 1 日付
横井豊治 (退職) (病院病理部)
平成 26 年 6 月 30 日付
福富隆志 (退職) (外科学講座
(乳腺・内分泌外科))
平成 26 年 7 月 31 日付

自治医科大学 新体育施設（ATLAS ARENA）竣工



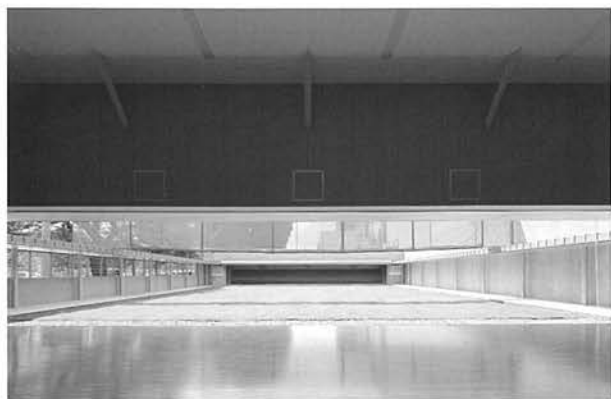
新体育施設外観

自治医科大学では、大学リニューアル基本計画の一環として、経年劣化が著しい体育施設及びプールの整備に着手することになり、平成25年7月の建設の着工開始から約1年3か月の工期を経て、平成26年8月に体育施設（メインアリーナ、弓道場、武道場、サークル部室からなる複合施設）及びプールから成る『自治医科大学 ATLAS ARENA』が無事竣工しました。

建設概要として、体育施設は、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の地上2階建、延床面積6,283.80㎡、プールは鉄骨造、鉄筋コンクリート造の地上1階建、延床面積449.15㎡となっております。



メインアリーナ



弓道場



プール

◎教授（特任）

近藤文雄（昇任）（薬理学講座）
 沼波宏樹（昇任）（外科学講座
 （呼吸器外科））
 杉本郁夫（昇任）（外科学講座
 （血管外科））
 山田恭聖（昇任）（生殖・周産
 期母子医療センター）
 以上、平成 26 年 4 月 1 日付
 鈴木和義（退職）（中央手術部）
 平成 26 年 8 月 31 日付

自治医科大学

《役員の異動》

◎理事

簗田清次（就任）
 平成 26 年 6 月 2 日付

《大学の人事》

◎卒後指導部長

針田 哲（退任）
 平成 26 年 7 月 7 日付
 本間善之（就任）
 平成 26 年 8 月 1 日付

埼玉医科大学

《法人役員 他》

◎名誉理事長

丸木清浩（就任）

◎理事長

丸木清之（就任）

◎特別顧問

濱口勝彦（就任）
 以上、平成 26 年 5 月 24 日付

◎埼玉医科大学病院病院長

金澤 實（新任）
 平成 26 年 8 月 1 日付

◎かわごえクリニック院長

片山茂裕（新任）
 平成 26 年 8 月 1 日付

金沢医科大学

◎特任教授

田中恵子（総合医学研究所生命
 科学研究領域）（配置換）
 平成 25 年 5 月 1 日付

《訃報》

久藤豊治理事は、平成 26 年 9
 月 2 日に逝去されました。享年
 77。

獨協医科大学

《理事の就任》

福田 健（副学長）
 任期：平成 26 年 8 月 1 日～平
 成 27 年 8 月 1 日

《教授の就任》

黒澤秀光（小児科学）
 平成 26 年 8 月 1 日付

近畿大学

《人事》

◎医学部長

伊木雅之（新任）

◎医学部長代理

東田有智（新任）

◎大学院医学研究科長

下村嘉一（再任）

◎医学部附属病院長

奥野清隆（新任）

◎医学部附属病院副病院長

植村天受（再任）

池上博司（再任）

赤尾幸恵（再任）

赤木将男（新任）

竹山宜典（新任）

以上、平成 26 年 10 月 1 日付

産業医科大学

《人事》

◎学長補佐

金澤 保（新任）
 平成 26 年 10 月 1 日付

協会及び関係団体の動き

I. 医学部新設問題に関する対応について

【協会、関係団体の動き】

■平成26年4月24日（木）

第276回理事会開催

〈協議事項〉

- ・医学部新設対策に関するワーキンググループの設置について

本協会は医学部新設に関する動向を注視し、全国医学部長病院長会議と連携を図り、意見調整をしつつ共同して対応するため、協会内にワーキンググループを設置し、積極的に協議・検討を行っていくこととした。

〈報告事項〉

- ・「医学部の新設に関する検討」の今後の方向性について
- ・政府「国家戦略特別区域諮問会議（平成26年3月28日開催）」について
- ・全国医学部長病院長会議と日本私立医科大学協会合同「緊急記者会見」について

■平成26年5月15日（木）

第277回理事会、第96回総会（春季）開催
〈報告事項〉

- ・医学部新設に関する動向について

本協会は、「医学部新設対策に関するワーキンググループ」（委員長：小川 彰総務経営部会担当副会長）において、応募要領の内容に関して詳細な検討を行い、対応を協議していくこととした。

また、医師不足に関しては、地域偏在・診療科間偏在をどのように改善するかという観点から、国民に説明できるような対案についても議論していくこととした。

【政府、関係省庁等の主な動き】

■平成26年4月28日（月）

文部科学省は「東北地方における医学部設置に係る構想の応募要項」を公表（応募期限：平成26年5月30日）

■平成26年5月12日（月）

国家戦略特区ワーキンググループ（座長：八田達夫大阪大学社会経済研究所招聘教授）は「指定区域における規制改革メニュー」の概要を公表した。

■平成26年5月21日（水）

宮城県は医学部新設に対する県の財政支援を公表した。

今回の医学部新設は、東日本大震災からの復興や東北地方における医師不足の解消等を目的とした特例措置であり、高い公共性・公益性の担保と県の関与が求められていると共に、キャンパスや附属病院の整備等に要する経費の負担が大きく、医学部新設を目指す学校法人側からも、経営安定化を図るための財政支援を要請されていることから、県の支援策（案）を検討し、その概要を公表した。

■平成26年5月21日（水）

内閣府は、国家戦略特区における特定事業を実施しようとする者を公募するとして要領を公表した。

■平成 26 年 6 月 12 日（木）

第 278 回理事会開催

〈報告事項〉

- ・ 東北地方における医学部設置に関する動向について
- ・ 国家戦略特区（医学部新設の検討）の動向について

■平成 26 年 7 月 10 日（木）

本協会「第 1 回医学部新設対策に関するワーキンググループ」開催

（座長：小川 彰岩手医科大学理事長・学長、協会総務・経営部会担当副会長）

■平成 26 年 7 月 10 日（木）

第 279 回理事会開催

〈報告事項〉

- ・ 文部科学省「東北地方における医学部設置に係る構想審査会」について

本協会並びに全国医学部長病院長会議（会長：荒川哲男大阪市立大学医学部長）は一貫して医学部新設には反対している。

将来予測される医師の過剰を十分に考慮し、医師不足には国公私立を問わず既設校による定員増で対応することが最善の策であるとの主張を堅持しつつ、全国医学部長病院長会議と意見調整を緊密に行いながら、引き続き当該問題解決策の提案を行っていく。

医師不足に関しては、地域偏在・診療科間偏在をどのように改善するかという観点から、国民に説明できるような対案についても議論していくこととした。

■平成 26 年 5 月 30 日（金）

文部科学省は「東北地方における医学部設置に係る構想」の応募状況を公表した。

（応募件数 3 件：国際復興記念大学（仮称）（申請者：南東北グループ）、東北医科薬科大学（申請者：東北薬科大学）、宮城県立医科大学または宮城大学（仮称）（申請者：宮城県））

■平成 26 年 6 月 16 日（月）

文部科学省「東北地方における医学部設置に係る構想審査会（第 1 回）」開催（座長：遠藤久夫学習院大学経済学部長）

■平成 26 年 7 月 4 日（金）

文部科学省「東北地方における医学部設置に係る構想審査会（第 2 回）」開催

- ・ 申請者である、南東北グループ、東北薬科大学、宮城県からヒアリング
- ・ 日本医師会からヒアリング

■平成 26 年 7 月 15 日（火）

文部科学省「東北地方における医学部設置に係る構想審査会（第 3 回）」開催

- ・ 岩手県、福島県、東北市長会、岩手医科大学、東北大学、福島県立医科大学よりヒアリング

■平成 26 年 7 月 23 日（水）

文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知「地域の医師確保等の観点からの平成 27 年度医学部入学定員の増加」を国公私立大学宛に発出した。

■平成 26 年 7 月 30 日（水）

文部科学省「東北地方における医学部設置に係る構想審査会（第 4 回）」開催

3 団体の医学部新設構想の審査を続けたものの、候補を 1 つに絞り込むには至らなかった。

■平成26年8月25日(月)

本協会は「東北地方における医学部設置」に係る確認事項を各理事宛に送付

確認事項は下記の通り

- ①本協会は基本的に、現在まで一貫して主張してきた「医学部新設反対」(東北地方・国家戦略特区)の立場は変わらないこと。
- ②審査会が1件を選定した後、大学設置・学校法人審議会への設置認可申請をしなければならないが、この時点で、本協会加盟大学に候補施設から協力要請がある可能性が高いことから、「設置認可に関する基本方針で示された4つの留意点」が遵守されているか否かを見守りつつ慎重に対応すること。
- ③国の基本方針では「引き抜き等で地域医療に支障を来さないような方策を講じること。」を求めており、各大学の教員及び関連病院の医師が「引き抜かれる」ことになれば、各大学の地域医療支援機能の低下を来すことから、各大学は「引き抜き」等によって大学病院の地域医療支援機能の低下を来すことのない様、最大限の方策を講じること。

■平成26年8月25日(月)

全国医学部長病院長会議は「医学部新設反対における確認事項について」を公表した。

■平成26年9月11日(木)

第280回理事会開催

〈報告事項〉

・東北地方における医学部設置に係る構想審査会の結果について

今後は、7条件への対応状況を同審査会が確認し、適切であると認めた場合に医学部新設の申請・審査に進むこと。

今回の選定は「医学部新設決定」ではなく、「新設に向けた第一関門突破」を意味するものであり、今後超えるべきハードルは多々あると思われること。

■平成26年8月23日(土)

文部科学省は「大学設置基準の一部を改正する省令案」等に関するパブリックコメントを開始した。

(提出期限：平成26年9月21日(日))

■平成26年8月28日(木)

文部科学省「東北地方における医学部設置に係る構想審査会(第5回)」開催

・7つの条件付きにて東北薬科大学を選定

7条件の概要は下記の通り

- ①東北6県や東北の各大学、関連教育病院、地域の医療関係者の協力で「運営協議会(仮)」を立ち上げ、構想の実現・充実を協議すること。開学後も復興のための医学部設置という趣旨に基づいた医学部運営がなされているか担保する仕組みとして同協議会を活用すること。
- ②同協議会などを活用し、既存の大学や東北6県と教育面や卒後の医師確保について役割分担・連携し、東北6県全体の医師偏在解消につなげる枠組みを確立すること。
- ③総合診療医養成に積極的に取り組み、仙台以外の宮城県各地や東北各地域において滞在型の教育もできるよう体制や環境を整備していくこと。
- ④教員や医師、看護師を公募する際は地域医療に支障を来さないことを担保する具体的な基準や指針を定めること。附属病院の拡張整備の際も県当局と相談の上、地域医療に支障を来さないよう進めること。
- ⑤医師の東北地方への定着を促す修学資金の仕組みについて、地域偏在の解消に対してより実効性が高く、かつ持続可能な仕組みとした上で、東北各県と十分な調整を行うこと。
- ⑥入学定員について、将来的に全国の大学において定員調整を行うこととなった場合には、他の大学と協調して対応すること。
- ⑦上記の他、本審査会における「構想の実施に当たり参酌すべき意見」を可能な限り採り入れ、東北地方における医学部新設の趣旨により相応しい大学とするよう努めること。

■平成 26 年 10 月 16 日（木）

第 281 回理事会開催

〈報告事項〉

- ・文部科学省「大学設置基準の一部を改正する省令の施行等について」（医学部入学定員増関係の省令・告示）

平成 27 年度から平成 31 年度までの期間を付した地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増員について、平成 26 年度の増員と同様の枠組みで認められることとなった。

- ・内閣府「東京圏国家戦略特別区域会議（第 1 回）」について

国際的な医療人材の育成のための医学部等の新設に関する検討として、千葉県成田市などにおいて、医療分野におけるイノベーションの創出を担う国際的な医療人材を育成するため、国内外の医療需要に対応した国際的な医学部の新設等について検討し結論を得るとしている。

■平成 26 年 10 月 1 日（水）

内閣府「東京圏国家戦略特別区域会議（第 1 回）」開催

- ・東京都、神奈川県、千葉県成田市からなる「東京圏」の区域計画の素案に関する議論
- ・医療分野におけるイノベーションの創出を担う国際的な医療人材を育成するため、国内外の医療需要に対応した国際的な医学部の新設等について検討し結論を得るとした

■平成 26 年 10 月 7 日（火）

文部科学省は「大学設置基準の一部を改正する省令の施行等について」（医学部入学定員増関係の省令・告示）を公表した。

■平成 26 年 10 月 20 日（月）

文部科学省は「平成 27 年度医学部入学定員の各大学の増員計画について」を公表した。

- ・平成 26 年度定員総数 9,069 名

⇒平成 27 年度定員総数（計画）9,134 名

（私立大学）

地域枠

埼玉医科大学：1 名、順天堂大学：3 名、帝京大学 1 名、東邦大学：5 名、愛知医科大学：3 名、藤田保健衛生大学 5 名、大阪医科大学：2 名、関西医科大学：5 名、近畿大学：5 名、川崎医科大学：10 名

研究医枠

慶應義塾大学：1 名

■平成 26 年 10 月 29 日（水）

日本医師会、千葉県医師会、印旛市郡医師会が、国家戦略特区、成田市における医学部新設に関して反対を表明（記者会見）

■平成 26 年 10 月 22 日（水）

東北薬科大学は第 1 回教育運営協議会を開催した。

第 1 回の議題は、医学部教員、医師の確保の方策について、議論が行われた。

応募書類に医学部長、病院長などの所属長の意見書の添付を求める案を提示したが、意見書の実効性が疑問視され、公募指針自体に異議が呈せられ、了承に至らなかった。

Ⅱ. 消費税増税問題に関する対応について

【協会、関係団体の動き】

■平成 26 年 4 月 11 日（金）
日本医師会「医業税制検討委員会」開催

■平成 26 年 4 月 24 日（木）
第 276 回理事会開催
〈協議事項〉
・消費税増税問題に関するワーキンググループ再編について
〈報告事項〉
・日本医師会「医業税制検討委員会」（平成 26 年 4 月 11 日開催）について

■平成 26 年 6 月 4 日（水）
日本医療法人協会と本協会との消費税増税問題に関する打合せ

■平成 26 年 6 月 5 日（木）
日本医師会と本協会との消費税増税問題に関する打合せ

■平成 26 年 6 月 11 日（水）
日本医師会「医業税制検討委員会」開催

■平成 26 年 6 月 12 日（木）
第 278 回理事会開催
〈報告事項〉
・日本医師会と本協会との消費税増税問題に関する打合せ（平成 26 年 6 月 5 日開催）について

■平成 26 年 7 月 10 日（木）
第 279 回理事会開催
〈報告事項〉
・日本医薬品卸売業連合会「消費税の表示カルテルの実施」及び今後の医薬品取引について

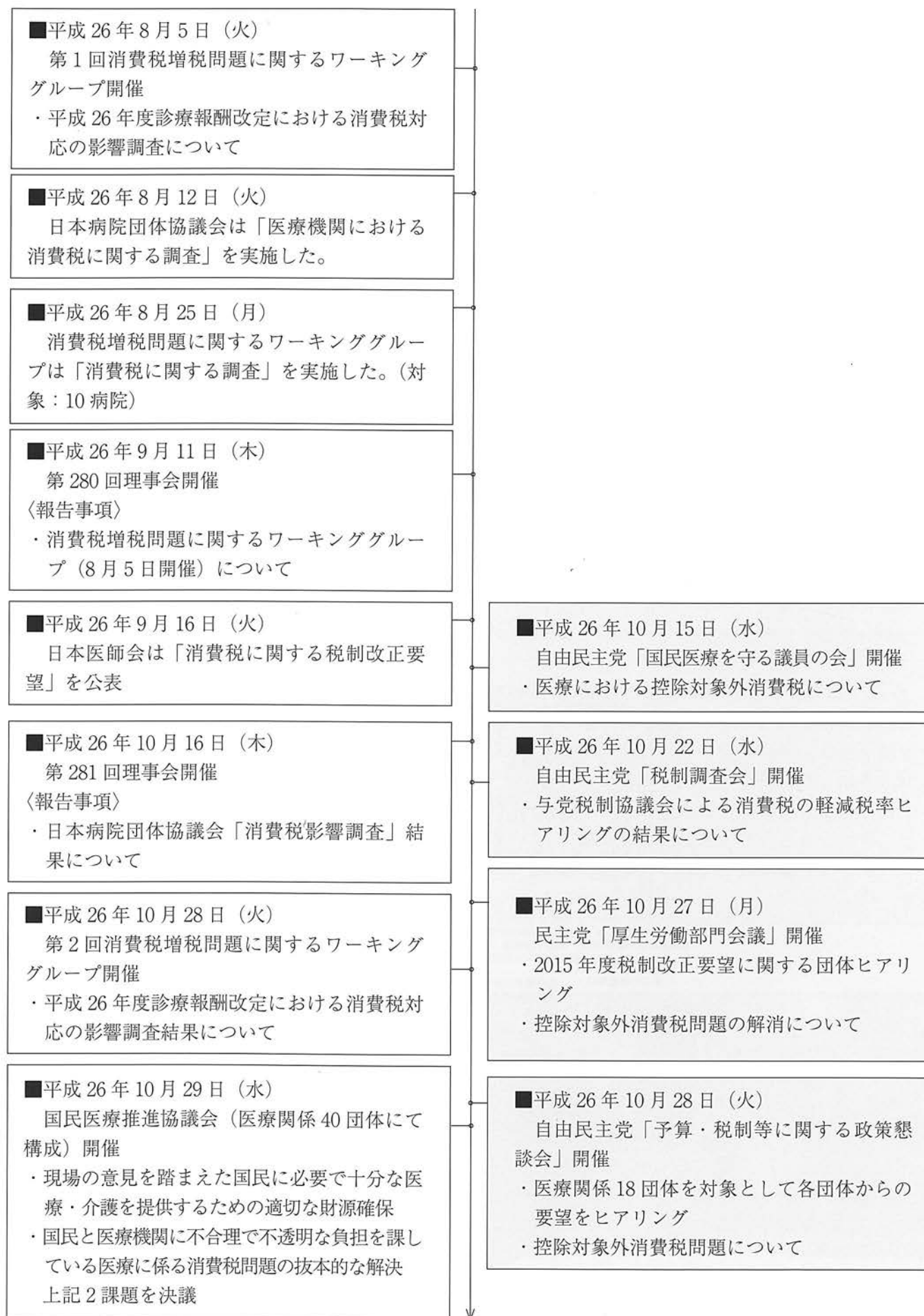
【政府、関係省庁等主な動き】

■平成 26 年 4 月 30 日（水）
参議院決算委員会開催
医療における控除対象外消費税問題が取り上げられた。

■平成 26 年 5 月 20 日（火）
自由民主党「国民医療を守る議員の会」開催
日本医師会横倉義武会長は、控除対象外消費税問題は消費税率 10% 導入時の抜本解決を求めた。

■平成 26 年 5 月 27 日（火）
自由民主党「国民歯科問題議員連盟」開催
医療に関する消費税問題について財務省に対して意見を求めた。

■平成 26 年 7 月 29 日（火）
与党税制協議会（自由民主党、公明党）開催
・日本医師会が軽減税率制度に関するヒアリング対象者として出席



Ⅲ. 被災地への医師等派遣状況について

被災地への医師等派遣状況（国公立大学別）

平成26年9月30日現在

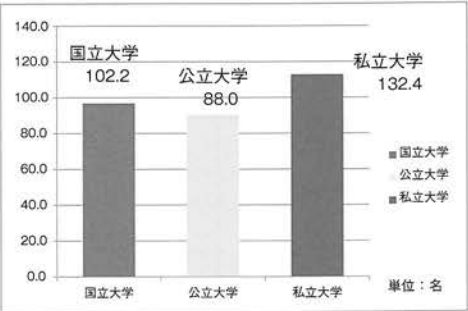
表1：DMAT含む医師等派遣状況

	大学数	病院数	チーム数	派遣人数	派遣延べ人数
国立大学	41大学	44病院	1,816チーム	4,192名	20,172名
公立大学	7大学	8病院	258チーム	616名	3,308名
私立大学	29大学	68病院	1,852チーム	3,841名	15,361名
					38,841名

表2：1大学当たりの医師等派遣人数（単位：名）

国立大学	102.2
公立大学	88.0
私立大学	132.4

※国立大学の派遣延べ人数については、文部科学省医学教育課から提供された資料より、下記【派遣延べ人数のカウント方法】に基づいて本協会において算出した。



【派遣人数のカウント方法】

医師5名、看護師1名、臨床心理士1名、事務1名のチーム構成で支援を行った場合、計8名を派遣人数としてカウントした。

【派遣延べ人数のカウント方法】

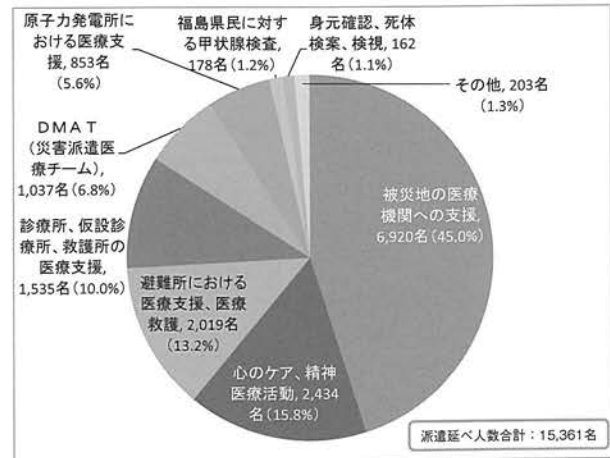
医師5名、看護師1名、臨床心理士1名、事務1名が4月23日から26日（4日間）まで支援を行った場合、4日間×計8名＝32名を派遣延べ人数としてカウントした。

一般社団法人 日本私立医科大学協会

私立医科大学における被災地への医師等派遣状況【目的別分類】（平成26年9月30日現在）
（私立医科大学附属病院本院29病院、分院39病院（計68病院）による対応）

No.	目 的	派遣延べ人数（名）	
1	被災地の医療機関への支援	6,920	45.0%
2	心のケア、精神医療活動	2,434	15.8%
3	避難所における医療支援、医療救護	2,019	13.1%
4	診療所、仮設診療所、救護所の医療支援	1,535	10.0%
5	DMAT（災害派遣医療チーム）	1,037	6.8%
6	原子力発電所における医療支援	853	5.6%
7	福島県民に対する甲状腺検査	178	1.2%
8	身元確認、死体検案、検視	162	1.1%
9	その他	203	1.3%
	合 計	15,361	100.0%

「9. その他」には、被災3県以外の医療活動、避難所における感染予防指導、SCU（広域搬送拠点臨時医療施設）本部への派遣、薬剤業務支援活動、災害支援ナース、在宅被災者の往診、仮設住宅の巡回、被災地ニーズの調査・訪問、現状視察等を含む。



IV. 自由民主党「大学病院を支援する議員連盟」に関する対応について

■平成 26 年 8 月 27 日（水）

自由民主党「第 4 回大学病院を支援する議員連盟総会」が開催され、国立大学附属病院長会議常置委員会と本協会より要望書を提出し意見交換を行った。

○本協会からの出席者は下記の通り
（敬称略・順不同）

会 長 寺野 彰

副会長 小川 彰

副会長 栗原 敏

業務執行理事 炭山嘉伸

○要望内容は下記の通り

医療と教育は国の根幹であり、国民の健康と福祉を担う医療者の育成は国の最重要課題であると考え、以下のとおり 6 項目を現時点での要望として取りまとめた。

①私立医科大学附属病院における控除対象外消費税（損税）の負担解消

②新医師臨床研修制度を基本から見直すこと
（会長コメント：新制度発足前は、医師養成削減政策による医師不足の状況にもかかわらず、大学の調整機能により、地域の医師不足も、診療科間偏在も顕在化していなかった。）

③被災地医療支援に係る補助の拡充

④私立大学等経常費補助金の拡充

⑤基礎・臨床研究環境の人的／物的拡充及び国際的環境の整備支援

⑥科学研究費配分の充実

【出席議員からの意見】

・消費税については、患者は非課税となっているが、既に診療報酬に含まれる形で患者は税金を払っている。消費税率 10%までは診療報酬での手当てを行うこととしているが、10%時には抜本的な改正を行い、取扱については課税にすべきである。

・国からの補助について、いろいろな意味で国立と私立に格差がある。教育の格差は理解できるが、病院においては医療を行う立場からもイーブンが当然ではないかと思われる。従って、国立大学附属病院の運営費交付金と私立医科大学付属病院の補助金格差を是正することについて考慮をいただきたい。

・医師数の問題はこれまで行われてきた医学部入学定員増の施策で対応できていると考えるが、本議連として、医師・診療科偏在問題を議論し、これ以上増やす必要はないとの提言をすべきではないか。

・新医師臨床研修制度が大きな問題であり、同制度の導入により、大学病院の派遣機能が失われた。大学病院の研修医の数を制限したマッチングのあり方が原因と考えられるので、臨床研修は大学病院に限るといった大胆な変更を要望する。これにより、大学病院の医師が増え、地域偏在を解消できるのではないかと。



要望書の提出：左）河村議連会長、中央）寺野会長、右）山本国立大病院長会議常置委員長



河村建夫議連会長の挨拶

地球の健康とすべての人々の
健康で豊かな生活に貢献したい。
それが私たちスズケンの
壮大なテーマです。

 **SUZUKEN**
<http://www.suzuken.co.jp>



Design
Your
Smile
健康創造の
スズケングループ



すべての人に、いきいきとした生活を
創造お届けします。

alfresa

アルフレッサ株式会社

〒101-8512 東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル13F・14F TEL.03-3292-3331 (代)

平成 26 年度私立医科大学合同入試説明会・相談会の実施について

「私立医科大学合同入試説明会・相談会」では、ローテーション方式による各大学の説明並びにブースを設けての個別相談形式により、各大学の入試担当者から直接、受験生や保護者の方々に私立医科大学の特色や入試制度などをお伝えしております。

今年度は下記のとおり、4 回開催し、多くの方々にご来場いただきました。

《開催スケジュール》

◇ 日本医科大学	平成 26 年 8 月 9 日 (土)	来場者数	約 1,450 名
◇ 愛知医科大学	平成 26 年 8 月 29 日 (金)	来場者数	約 230 名
◇ 近畿大学	平成 26 年 8 月 30 日 (土)	来場者数	約 200 名
◇ 自治医科大学	平成 26 年 9 月 14 日 (日)	来場者数	約 200 名

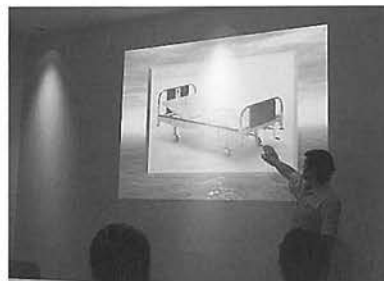
安全・快適な療養環境づくりのお手伝い。



■ベッド調査



■修理・点検・清掃



■報告・提案

保守・点検・修理などを中心とした多様なサービスを通じて、医療・介護施設さまのニーズにお応えします。

パラテクノ株式会社

本社 〒273-0024 千葉県船橋市海神町南 1-1648-7 ☎047(431)0552(代)
サービス拠点 札幌・仙台・さいたま・船橋・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡

全ては健康を願う人々のために



わたしたちは社会・顧客と共生し、
独創的なサービスの提供を通じて
新しい価値を共創し、世界の人々の
医療と健康に貢献します。

共創未来グループ
東邦薬品株式会社

〒155-8655
東京都世田谷区代沢 5-2-1
TEL.03-3419-7811
<http://www.tohoyk.co.jp/>

広く、そして深く…。
アウトソーシングの専門企業として
レベルの高い、新しいサービスを追及しています。

中材業務・看護補助業務・手術部環境保全業務／
人材派遣・病院清掃／その他

株式会社 日経サービス



本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1 丁目 17 番 10 号 南船場 NS ビル
TEL : 06-6268-6788 (代表) FAX : 06-6268-0388

東京支店 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2 丁目 3 番 13 号 鈴木ビル
TEL : 03-5283-0061 FAX : 03-5283-0062

<http://www.nikkei-service.co.jp>



広報誌 **医学振興**

第 79 号

平成 26 年 11 月 20 日発行

発行人 寺 野 彰
編 集 一般社団法人 日本私立医科大学協会
広報委員会
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25
私学会館別館 1 階
TEL(03)3234-6691 FAX(03)3234-0550
印 刷 今井印刷株式会社

＜広報委員会＞

担当副会長	小川 彰
担当理事	明石勝也
委員	炭山嘉伸
委員長	栗原敏孝
委員	田尻勝司
委員	小口勝裕
委員	跡見永寛
委員	冲永寛子